



## 忘失パスワードの置換または回復

ここでは、Cisco 4000 シリーズ サービス統合型ルータ (ISR) 上で忘失したイネーブルパスワードまたはコンソールログインパスワードを回復する方法と、忘失したイネーブルシークレットパスワードを再設定する方法について説明します。



(注)

イネーブルパスワードとコンソールログインパスワードは回復することができます。イネーブルシークレットパスワードは暗号化されているので、新規のイネーブルシークレットパスワードを再設定する必要があります。

### パスワード回復手順の概要

パスワード回復手順の概要を次に示します。

- ステップ 1 ルータにログインできる場合は、**show version** コマンドを入力して、既存のコンフィギュレーションレジスタ値を判別します。
- ステップ 2 ROMMON を開始するには、**confreg** で自動ブートをディセーブルに設定し(ポーレートが 9600 の場合は 0x0)、ボックスをリロードします。



注意

Cisco 4000 シリーズ サービス統合型ルータ ルータの電源を再投入する場合は、最初にルータのグレースフルリロードを実行することを推奨します。最初にグレースフルリロードを実行せずに電源の再投入を行うと、NVRAM に保存されているデータが失われる可能性があります。つまり、コンフィギュレーションファイルが失われる場合があります。ルータでグレースフルリロードを行わずに電源を再投入する可能性がある場合は、**boot config file-system:configuration-file nvbypass** コマンドを使用し、NVRAM 以外のファイルシステムを指定してコンフィギュレーションファイルを保存することを推奨します。次に、例を示します。

```
Router(config)# boot config bootflash:configuration_data.cfg nvbypass
```

- ステップ 3 次の機能がイネーブルになるように、コンフィギュレーションレジスタを変更します。
  - a. ブレーク
  - b. スタートアップコンフィギュレーションの無視
  - c. フラッシュメモリからの起動



(注) パスワードの回復で重要なのは、スタートアップ コンフィギュレーション (通常は NVRAM 内) が無視されるように、コンフィギュレーション レジスタのビット 6 (0x0040) を設定することです。このように設定すると、パスワードを使用しないでログインしたり、スタートアップ コンフィギュレーション パスワードを表示することができます。

ステップ 4 ルータの電源を切断してから再投入します。



(注) ルータの電源をオフにしたのち、再度電源をオンにするまで、30 秒間隔をあけてください。

ステップ 5 ルータにログインして、特権 EXEC モードを開始します。

ステップ 6 `show startup-config` コマンドを入力してパスワードを表示します。

ステップ 7 表示されたパスワードを回復するか、または再設定します。

ステップ 8 コンフィギュレーション レジスタを元の設定に戻します。

## パスワード回復手順の詳細

イネーブルパスワード、イネーブルシークレットパスワード、またはコンソールログインパスワードを回復または再設定するには、次のステップを実行します。

ステップ 1 ルータのコンソールポートに ASCII 端末を接続します。

ステップ 2 9600 ボー、8 データビット、パリティなし、1 ストップビット (9600 8N1) で動作するように、端末を設定します。

ステップ 3 ルータにユーザモードでログインできる場合は、`show version` コマンドを入力して、既存のコンフィギュレーションレジスタ値を表示します。あとで使用できるようにこの値を記録して、ステップ 6 に進みます。ルータにまったくログインできない場合は、次のステップに進みます。

ステップ 4 **confreg** で自動ブートをディセーブルに設定し (ボーレートが 9600 の場合は 0x0)、ボックスをリロードします。ルータは ROM モニタを開始し、ROM モニタプロンプト (`rommon1>`) が表示されます。

ステップ 5 コンフィギュレーションレジスタユーティリティを使用してコンフィギュレーションレジスタを設定し、次のように ROM モニタプロンプトで **confreg** コマンドを入力します。

```
rommon 1> confreg
```

ステップ 6 `enable ignore system config info?` という質問に `yes` と入力し、現在のコンフィギュレーションレジスタ設定を記録します。

ステップ 7 次のように `reset` コマンドを入力してルータを初期化します。

```
rommon 2> reset
```

ルータは初期化され、コンフィギュレーションレジスタは 0x142 に設定され、フラッシュメモリからシステムイメージが起動され、次のようにシステムコンフィギュレーションダイアログプロンプトが表示されます。

```
--- System Configuration Dialog ---
```

**ステップ 8** 次のメッセージが表示されるまで、システム コンフィギュレーション ダイアログ プロンプトに `no` と入力します。

```
Press RETURN to get started!
```

**ステップ 9** Return キーを押します。次のように、ユーザ EXEC プロンプトが表示されます。

```
Router>
```

**ステップ 10** `enable` コマンドを入力して特権 EXEC モードを開始します。次のように `show startup-config` コマンドを入力して、コンフィギュレーション ファイルのパスワードを表示します。

```
Router# show startup-config
```

**ステップ 11** コンフィギュレーション ファイル表示内を走査しパスワードを探します(通常、イネーブルパスワードはファイルの先頭付近にあり、コンソール ログインパスワードまたはユーザ EXEC パスワードは末尾付近にあります)。パスワードは次のように表示されます。

```
enable secret 5 $1$ORPP$s9syZt4uKn3SnpuLDrhuei
enable password 23skiddoo
.
.
line con 0
  password onramp
```

イネーブル シークレット パスワードは暗号化されているため回復できず、再設定する必要があります。イネーブルパスワードとコンソール ログインパスワードは暗号化されている場合もあれば、クリアテキストの場合もあります。イネーブルシークレットパスワード、コンソール ログインパスワード、またはイネーブルパスワードを再設定するには、次のステップに進んでください。イネーブルシークレットパスワードがなく、イネーブルパスワードおよびコンソール ログインパスワードが暗号化されていない場合は、イネーブルパスワードおよびコンソール ログインパスワードを記録し、ステップ 17 に進んでください。



#### 注意

イネーブルパスワード、イネーブルシークレットパスワード、またはコンソール ログインパスワードの変更または再設定が必要であると判明するまで、次のステップは実行しないでください。次に示すステップの実行に失敗すると、ルータの設定が消去されることがあります。

**ステップ 12** `configure memory` コマンドを入力して、スタートアップ コンフィギュレーション ファイルを実行メモリにロードします。この操作によって、パスワードを変更したり再設定することができます。

```
Router# configure memory
```

**ステップ 13** 特権 EXEC コマンド `configure terminal` を入力して、コンフィギュレーション モードを開始します。

```
Hostname# configure terminal
```

**ステップ 14** 次のコマンドを使用して、3つのパスワードをすべて変更します。

```

Hostname(config)# enable secret newpassword1
Hostname(config)# enable password newpassword2
Hostname(config)# line con 0
Hostname(config-line)# password newpassword3

```

設定に必要なパスワードだけを変更してください。パスワードを個別に削除する場合は、上記コマンドの **no** フォームを使用します。たとえば、**no enable secret** コマンドを入力すると、イネーブルシークレットパスワードが削除されます。

**ステップ 15** 次のように、すべてのインターフェイスを管理上のシャットダウン状態にしないように設定する必要があります。

```

hostname(config)# interface gigabitethernet 0/0
Hostname(config-int)# no shutdown

```

もともと設定されていたすべてのインターフェイスに対して、同等なコマンドを入力します。このステップを省略すると、すべてのインターフェイスが管理上のシャットダウン状態になり、ルータの再起動時に使用できなくなります。

**ステップ 16** **config-register** コマンドを使用して、コンフィギュレーションレジスタをステップ3または8に記載されている元の値に設定するか、次のように出荷時の設定 **0x2102** に設定します。



(注) ボーレートが9600以外の場合は **0x2012** を使用しないでください。

```

Hostname(config)# config-register 0x2102

```

**ステップ 17** **Ctrl-Z** (Ctrl キーを押しながら Z キーを押す) か、または **end** を入力して、コンフィギュレーションモードを終了し、EXEC コマンドインタープリタに戻ります。



**注意**

パスワードを変更するかまたは再設定するまで、次のステップを実行しないでください。ステップ13～16を省略した場合は、ステップ20に進みます。この注意に従わないと、ルータのコンフィギュレーションファイルが消去されます。

**ステップ 18** **copy running-config startup-config** コマンドを入力して、新しい設定を NVRAM に保存します。

**ステップ 19** **reload** コマンドを入力して、ルータを再起動します。

**ステップ 20** 新しいパスワードまたは回復されたパスワードを使用して、ルータにログインします。

これで、イネーブルパスワード、イネーブルシークレットパスワード、またはコンソールログインパスワードを回復または再設定する手順は完了です。